

『統計検定準1級対応 統計学実践ワークブック』

(日本統計学会 編, 学術図書出版社)

正誤表 第1版 第5刷 用

頁	場所	誤	正
65	8行目	「これを、最尤推定量の漸近正規性 (asymptotic normality) という。」に脚注として以下を追加してください。 なお、漸近正規性をもつ推定量に対して、その極限分布の分散がクラメル・ラオ不等式の下限を達成することを漸近有効性と定義することもあるが、分散の極限と極限分布の分散は一般には異なるので、上記の漸近有効性の定義とは厳密には異なる。	
66	下14行目	半径 r を	半径を
66	下11行目	このとき	コインの半径は平均 r の確率分布に独立同一に従うとするとき
67	下1行目	$\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$	$\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i$
68	4行目	最尤推定量である。	最尤推定値である。これより最尤推定量は $\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i$ である。
69	4行目	「ある。」の後に以下を追加してください。 ただし、これはコインの半径が平均 r の分布に従うと仮定したからであり、コインの面積が平均 πr^2 の分布に従うなら、観測面積の平均を用いても問題ないことに注意。	
101	5行目	6人に与えられる順位の組合せ	群Aの3人に与えられる順位の組合せ
101	下2行目	7人に与えられる順位の組合せ	群Aの3人に与えられる順位の組合せ
105	14行目	(x_i, y_i) と (x_j, y_j) ($i \neq j$)	(x_i, y_i) と (x_j, y_j) ($i < j$)
106	下14行目	6人に与えられる順位の組合せ	A群3人に与えられる順位の組合せ
124	3行目	$X_t = \sum_{k=1}^{N_t} U_k$	$X_t = \sum_{k=1}^{N_t} U_k$
166	下14行目	特性 (characteristics)	特性 (characteristics)

175 式 (20.6) $S_{[k]} = \sum_{i=1}^N \sum_{j=1}^2 (\bar{y}_{[k]j} - \bar{y})^2$ $S_{[k]} = \sum_{i=1}^{N/2} \sum_{j=1}^2 (\bar{y}_{[k]j} - \bar{y})^2$

178 下 1 行目 $2^{3-1} = 8$ $2^{4-1} = 8$

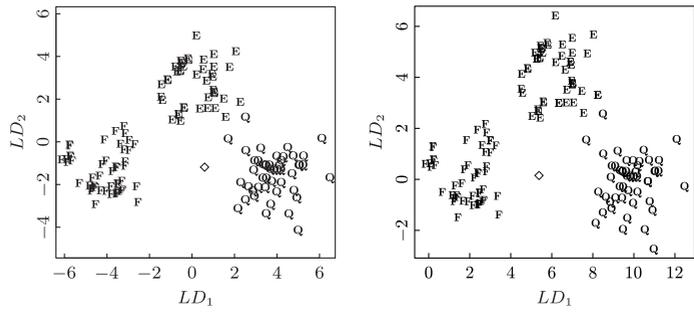
185 下 2 行目 すべて調査単位 すべての調査単位

191 下 8 行目 修正項 $(N - n)(N - 1)$ 修正項 $(N - n)/(N - 1)$

198 例 2 [1] 小テストの結果を図 22.1 のように第 1, 第 2 主成分で 小テストの結果を第 1, 第 2 主成分で

204 下 7 行目 $(\hat{\boldsymbol{w}}^\top \bar{\boldsymbol{x}}_1 + \hat{\boldsymbol{w}}^\top \bar{\boldsymbol{x}}_2)/2$ $(\hat{\boldsymbol{w}}^\top \bar{\boldsymbol{x}}^{(1)} + \hat{\boldsymbol{w}}^\top \bar{\boldsymbol{x}}^{(2)})/2$

213 図 23.4



(軸の範囲および◇の位置を変更)

213 5 行目 アルファベット L を表すサンプル $\boldsymbol{x}_L = (2.5, -1.1, 0.0, -0.8, 1.0)^\top$ アルファベット A を表すサンプル $\boldsymbol{x}_A = (0.9, 0.7, 0.8, 2.1, 5.2)^\top$

213 8 行目 新しく観測した L 新しく観測した \boldsymbol{x}_A

214 下 2 行目 L に対応する新しいサンプルを射影した点 $(\boldsymbol{w}_1^\top \boldsymbol{x}_L, \boldsymbol{w}_2^\top \boldsymbol{x}_L) = (0.44, -1.24)$ からの距離はそれぞれ 8.05, 2.10, 9.60 である。 A に対応する新しいサンプルを射影した点 $(\boldsymbol{w}_1^\top \boldsymbol{x}_A, \boldsymbol{w}_2^\top \boldsymbol{x}_A) = (5.52, 0.31)$ からの距離はそれぞれ 4.01, 3.57, 4.41 である。

216 下 10 行目 $d_m(\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) = \sum_{i=1}^p (|x_i - y_i|^m)^{1/m}$ $d_m(\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) = \left(\sum_{i=1}^p |x_i - y_i|^m \right)^{1/m}$

242 1 行目 $|\phi| > 1$ ならば $|\phi_1| > 1$ ならば

250 下 7 行目 周期が λ_1 から λ_2 の変動に帰着する変動 周波数 λ_1 から λ_2 に帰着する変動

272 14 行目 性質 1 $A, B \in V$ が連結でないなら, 因子 A, B は独立である。 性質 1 $A, B \in V$ が連結でないことと, 因子 A, B が独立であることは同値である。

282 12 行目 $\exp\left(-\frac{(x_i - \mu)^2}{2\sigma^2}\right)$ $\exp\left(-\frac{(x_i - \mu)^2}{2\sigma^2}\right)$

285	下 6 行目	ア リ ゴ リ ズ ム	ア ル ゴ リ ズ ム
314	下 9 行目	$\{g_1(x_1), \dots, g_j(x_m)\}$	$\{g_j(x_1), \dots, g_j(x_m)\}$
317	下 10 行目	標 準 誤 差 を $\hat{\text{se}}(x)$ を 求 め	標 準 誤 差 $\hat{\text{se}}(x)$ を 求 め
